

和泉 行政は常に広報を配っています... 見ないでこみ箱というケースも随分あるのではないかと。確かに昔はハザードマップを配ると、土地の値段が下がると言われて、配ること自体消極的だった時期があったんですが今はそんなことはない。ただしみんな見ないのですね。そこをどう解消するか、情報を逆回しにして、子供の方から、お父さん、お母さん、マップ見たか、どう考えているんだ、どこに僕たちを連れ

竹下 今お話を伺って思い出したのですが、ある地域で詳細なハザードマップをつくり、あなたの地域はこれくらい危険ですと、新聞の折込みで各家庭に届くようにしたのですが、翌日、学校で先生が、「昨日、見たか？」と生徒に聞いたら、だれも手を挙げなかった。せっかく情報を出しても、家庭で話題に上らない。やはり新聞折込みではなくて、学校の総合学習で取り組むと、子供は学校から家庭に情報を持ち帰りますね。定着させるのは家庭の力。地域の力で、命に対する自己管理はそれから広がっていくのではないかと思います。

の人たちが編み出した知恵とか実行例を山の手の人たちが知っていたらいい。そのためには、小学校で自分のまじの点検を子供たちがする、どうしたらいいかはお父さんお母さん方に考えてもらう。こういう行動があるが、下町の実例を出す。こういう教育も大事と思うのです。新機軸の防災体制は大がかりではなく、一人一人の努力が集積し大きい力になる、そういうやり方を考えていく必要があると思います。

山崎 大変に重いお話です。さて自分たちの地域や自分で身を守るという、取り組みを取材しました。「VTR放映」

山崎 貝原さん、大変ユニークな各地の試み、東京消防庁としても後押ししている側面があると思うのですが。小林 ビデオでの自治会は、もともと防災に対する関心の強い地域です。自分のまちの危険性をよく知っている。そこに我々消防も協力して、一つの訓練形式をつくってみたのです。今までにない防災対応型で、地域の一部分の人が被害の発生状況を知らない、そういった中で訓練が始まる。自分が何をしなければいけないのか、どう行動することが必要なのかということを通じて地域の人が考えていたように感じました。そうすることでさらに隣人にも声をかけ、地域の結びつきが強くなるのです。

山崎 竹下さんの所ではどうですか。竹下 地域にやる気のあるリーダーと実行する市民の皆さんがいて、みんなの意識が一つにまとまるのは、普段きちんとしたコミュニケーションがあつてこそという気がしました。どうしても今は個人の生活が優先してしまう、それぞれの生活の仕方も違う、共通の時間を割くということも、遠慮してしまう。しかし「やるぞ」という声一つあると動くのかなと感じました。つまり「防災」がキーワードになって、今までなかった近所付き合いが生まれつつはある、そしてお互いの家庭が、地域がもつと見えてくればいいなと思っています。



急遽建設された仮設住宅

山崎 貝原さん、復興というのには長い時間がかかります。復興のあり方も市民が考えて、災害に強いまちをつつていくことをどう考えていこうと思いますか。

山崎 いろいろアイデアが出てきましたけれども、そういう地域の取り組みが災害が起きた後の復旧や復興の原動力になるんですね。



運河をシンボルイメージに未来都市を目指す街「キャナルタウン ウエスト」(神戸市)

山崎 貝原さん、復興というのには長い時間がかかります。復興のあり方も市民が考えて、災害に強いまちをつつていくことをどう考えていこうと思いますか。

山崎 いろいろアイデアが出てきましたけれども、そういう地域の取り組みが災害が起きた後の復旧や復興の原動力になるんですね。

山崎 和泉さん、そういう地域の取り組みを国としてどうお考えですか。

和泉 この4、5年、都市計画でもまちづくりでも、地域の住民組織の方々に参画してもらおうといった制度改革を続けてきております。

山崎 伊藤さん、防犯と防災についてわかりやすく教えていただけますか。

竹下 基本は、自分の命は自分で守るということだが、意識されているか、生活の中で取り組みができていないか。そこから始めないと、地域で手を取り合っていくこともできないし、次に進めない気がします。

山崎 地震に強いライフラインというのはとても大事ですが、竹下さん、生活者の立場から。

山崎 地震に強いライフラインというのはとても大事ですが、竹下さん、生活者の立場から。

山崎 伊藤さん、防犯と防災についてわかりやすく教えていただけますか。

伊藤 実は、不安感は今あらゆる都市で高まっていて、数字的にも実証されています。泥棒や窃盗、強盗の検挙率が、昭和63年45%だったものが、16年の間に20%に下がったのです。これが大変だと地域ではパトロールをしたり、警察と協力したりしています。

山崎 伊藤さん、防犯と防災についてわかりやすく教えていただけますか。